

令和2年度農林水産技術会議開催結果

畜産技術センター

| | | | |
|------|---|------|---------------|
| 開催日 | 令和2年12月21日 | 開催場所 | 畜産技術センター情報管理室 |
| 部会名 | 研究課題設定部会 | | |
| 評価課題 | 家畜用未経産牛におけるOPUを用いた後継牛確保対策 | | |
| 評価委員 | 日本獣医生命科学大学 講師 (一社) 日本家畜人工授精師協会 事務局長 | | |
| 評価概要 | <p>未経産牛のホルモン処理は、その後の繁殖に影響が出ることも考えられるので、実施に当たっては農家との協議が必要になる。卵子の数を増やすためには、OPU実施日を0日としてすぐホルモン処理を始めることも有効な手段である。</p> <p>胞状卵胞数が多いと採卵数が多くなる。胞状卵胞数は、母牛が妊娠100日までにストレスを受けると胎児に影響する。供卵牛の栄養レベルは、回収率に影響はないが、栄養レベルが高い方が移植可能胚数は多くなる。</p> | | |